

広島市佐伯区の「やはた昔遊びの会」の活動を見学しました。

広島市立八幡小学校で八幡学区社会福祉協議会とやはた昔遊びの会が共同で開催された「八幡小学1年生と地域の方との交流会」を、2024年1月23日（火）に見学しました。



当日は、雪がちらつき凍てつく寒さ。広い体育館はさぞ冷たいことだろうと覚悟し会場を覗いたところ、大型のストーブがぼんぼんたかれた中で、23名のボランティアの皆さんがせっせと会場準備をすすめておられました。

開始時間の9時50分になると、3クラス95名の1年生がお行儀よく列になって、先生の先導で入場し開始を静かに待ちます。

開会式では、2名の児童から歓迎の挨拶がありました。

- ◇ かみヒコーキ
- ◇ お手玉・あやとり
- ◇ かざぐるま
- ◇ かみでっぼう
- ◇ けん玉・ぱっちゃん
- ◇ 羽根つき
- ◇ かみごま
- ◇ ぶんぶんごま
- ◇ おはじき
- ◇ トンネル遊び

その後、児童は10グループに分かれて、10個のブースを5～6分で順番にめぐり、遊びを体験しました。先ほどまで静かだった児童は、おもちゃづくりに熱中し、でき上がると早速動きを試したり、用意された羽根つきやトンネル遊びに歓声をあげてチャレンジしたりと元気いっぱい普段とは違った遊びに興じていました。

担任の先生は、「テレビゲームやスマホゲームばかりではなく、身近にあるものを使い創意工夫すれば楽しい遊びができることを知ってほしい。子ども達にとってとても良い体験になります」との感想を伺いました。児童の皆さんからは、「家に帰って家族と遊んでみる」「今日工作したコマは大切に使いたい」などの感想が寄せられました。



「やはた遊びの会」は、昔遊びの発掘を目的に2007年に結成。八幡で集めた昔遊びの本を完成させた時、昔遊び伝承の必要性を強く感じ、実際に子どもたちに紹介する活動につながったそうです。昔遊びの魅力は、「年齢差を超えた仲間作り、体力作り」「工夫する知恵、粘り強い忍耐力」「判断力、瞬発力、柔軟さの養成」とのこと。実際に、工作と遊びを組み合わせるかざぐるまやこまなどに取り組む児童たちは、完成するまで集中力を切らさずに工夫している姿が印象的でした。

昔あそびの本の中には、私自身も小学生時代に友達と一緒に、屋内外で楽しんだ遊びがたくさん掲載されており、忘れ去っていた思い出とともにとても懐かしく当時を思い起こしました。また、モノづくりやものの原理を学ぶことは、このような身近にあるものが一番の教材になることも感じました。

(本郷)